

クイズに挑戦！？

みなさんの中に謎解きが得意な人はいますか？今回は私から一問出題をさせていただきます。試験勉強の息抜きとして、下のクイズに挑戦してみてください。

1)~4)の基本ルールで、9マスから成り立つ X と Y を足し算すると、次のようになります。

1) □ ⊕ □ = □	→	X =	Y =
2) □ ⊕ ■ = ■		のとき、	
3) ■ ⊕ □ = ■		X ⊕ Y =	
4) ■ ⊕ ■ = □		である。	

そこで問題です！

下の関係が成り立つとき、A にあてはまるのは①~④のどれでしょう？

A	+		=	B
B	+		=	

答えが分かった
人は桑原まで♡

①	②	③	④
---	---	---	---

「ここは解いてから読んでください」

今回「謎解き」として出題したこの問題は、「謎解き」風な出題にアレンジしてありますが、実は、高1生から受験科目となる「情報」の問題です。正確には、2019年度に河合塾が「情報」のサンプル問題として作成したものを参照しました（ネットで公開中）。今回出題したのは、闇雲に不安がるのではなく「これなら解けるかも!」と頑張ってほしかったから。もう一つは、ぜひ河合塾のオリジナル問題を見てほしいと思ったからです。答えを出す力の前に、問題文を読んで何が問われているかをこの「謎解き」風に整理する力も試されています。見比べてみましょう。（→Classiでリンクを送りました）※高2,3生の入試でもすべての科目・小論文でこういう読解力を測る問題が増えています。やってみましょう。桑原華

♪3年の窓♪

大事なことは、時間がかかる。

受験が間近に迫ってきました。気がつけば、共通テストまでもう60日を切っています。中には受験を終えた人もいられるでしょう。お疲れ様でした。何かを選ぶということは、何かを選ばなかったということでもあります。決断するのは勇氣が必要です。人生は決断の連続です。否が応でも、「自分」で「決断」し続けなければいけません。

皆さんの多くは上級学校へ進学し、行動範囲もぐっと広がり、選択の自由度が増えていきます。今日のご飯は何にしようか、今日は誰と会おうか、今日はどこへ出かけようか…と身近なことの選択や、あるいは、就職活動をする際にどの企業に応募しようか…など、人生の大きな分岐点まで大小様々です。では、このような大きな決断をする時はどうすればいいのでしょうか。

それは、自分の軸(価値観)を持つことです。あるように見えて、はっきりと形作られているわけではありません。また、ある日突然に出来上がるものでもありません。これは、皆さんが、多くの人々、学問、歴史、文化、思想、自然と触れていく中で出来上がっていきます。あるいはこれまでの経験からも影響を受けるでしょう。つまり、自分の軸が出来上がっていくには、沢山の時間がかかるのです。

「大事なことは、時間がかかる。」これは私がお世話になった方からよくいわれた言葉です。一足飛びにできるようになることはあまり多くありません。丁寧に一つずつやっていくしかないのです。

後悔が少しでも小さくなるように、今の自分にできることを精一杯やり切ってください。いろんなことに挑戦し、触れて、感じて、今の自分の軸を創って行ってください。これは今からでもできるはずです。人生は不連続ではありません。今あなたが頑張ってきたことが、未来につながっています。

根は深く、幹は太く、枝葉が天まで届くような、一本の木を自分の心の中に育てていってください。（吉田）

♪2年の窓♪

自分の生物としての性質を利用しよう

出身高校の野球部では、様々なことを指導していただきました。その中に、「瞬間の声」というものがありました。これは、相手投手が投げたボールをベンチから見ている際、明らかなボール球だったら、「ボール!!」と言ったり、ランナーの動きを見て「走った!!」と言ったりするというものです。あまりに徹底していたからか、高校卒業から10年近くたった今でも、野球観戦中に球場やテレビの前で「ボール!」「走った!」「ショート!」「バント!」などつぶやいてしまうことがあります。

大学生の頃、教職課程の授業で、“条件付け”という概念を学びました。そして、先ほど書いた私の奇行は、スキナーによって提唱された”オペラント条件付け”であることを知りました。ざっくり言うと、「生物が何らかの行動をした際、それに対して報酬が得られることでその行動が強化される。」という理論です。(罰が与えられると、弱化します。より詳しく知りたい方は、検索してみてください。) 私という人間も、他の生物と同じように「瞬間の声」を出すことが、成功体験から強化され、条件付けられているわけです。

この生物的な行動原理は、様々なところで活用できます。この”オペラント条件付け”は、【テストでいい点を取る→ご褒美がもらえる→テスト勉強を頑張れる】という単純な報酬によっても成り立ちますが、【勉強しようと思う→自習室に行く→集中できる】という成功体験を重ねていくと、勉強は自習室でしたくなるというものも含まれます。実際私は、大学時代の勉強を、某ハンバーガーチェーンですることが多かったため、今でも勉強するときは行きたくありませんし、行けば集中できる場所となっています。特に、後者のような”条件付け”の使い方は、生きていくうえで大きな武器となりうるものだと思います。

みなさんも、何かをするにあたって、それに付随できる様々な行動、方法を試し、自分がよかったと思うものを見つけてみてはどうですか。筆記用具を新しくする、チョコレートを食べる、ハチマキをする(?)など、の一見目的とは関係ないような行動も、自分のしなければならないことと”条件付け”をすることで、いわゆる”ルーティーン”のような形で、これからの自分を助けてくれるものになるかもしれません。(文責:日比野)

♪1年の窓♪

正しい選択肢はどれ?

人生に「選択」はつきものです。目の前にいくつかの選択肢が提示され、どれか1つを選ばないといけない、そんな場面を何度も乗り越えて、人生という物語が進んでいきます。1年生のみなさんは今まさに選択科目を選ぼうとしていますよね。理系?文系?特進?一般?あちらこちらでみなさんの会話が聞こえてきます。さて、この選択肢、どれを選ぶのが正解なのでしょう?気になるところです。もし、そんな正解があるのなら教えて欲しいものですよね。私は「正解はない」と思っています。いや、それを通り越して、「どれも正解にすることができる」と考えています。何かズルい考え方のようにも思えますが、人生の選択肢は後戻りできない、やり直しが効かないことが多いです。そんな中、1つ、何かの選択肢を選んだ後に「しまった、間違えた!!」と思っても、選びなおせない現実と向き合うしかないわけです。それを背負いながらその後の人生を送るよりは、そこからの自分の行動で「正解に変えていく」方が絶対おもしろいし、後で「結局、正解だったじゃん!!」と思えばいいと思っています。しかし、これはどの選択肢を選んでも大丈夫、と太鼓判を押しているわけではありません。後の行動や努力で正解に変えていける人は、提示された選択肢に対して、真剣に向き合った人だけです。考え抜いて選んだからこそ、その選択肢を大事にしようとするし、選んだ後も結局は頑張れるわけです。逆に、あまり考えずに安易に選んでしまうと、「正解だと思ってたけどなんか違う」と考えてしまう人も出てきます。そうなるともうどれも不正解ということになりかねません。選んだ選択肢を正解にしていくためにも、自分自身のこととしてしっかり捉えて、頑張って向き合っていきましょう!!今、みなさんは、目の前の選択肢に対してしっかりと向き合っていますか?2年から3年に進級する際にも、科目選択があることはもうしていますよね。その後も、どの大学を受験するのか、そしてどの大学に進学するのか、卒業後、大学院へ進学するのか、就職するのか。就職するのなら、どの企業にするのか、公務員なども考えるのか。どんな友人と時間を共にし、どんな異性とつきあうのか。人生のパートナーとして誰を選ぶのか。どんな家を買うのか。どんな車を買うのか……。

さ、今日は何を食べようかな(^^)

(高橋)